

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日本機材株式会社 木津川新センター	階数	地上2F
建設地	京都府木津川市城山台二丁目2番1	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	100 人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年2月 予定	評価の実施日	2019年5月27日
敷地面積	17,876 m ²	作成者	辻井 光憲
建築面積	8,034 m ²	確認日	2019年5月27日
延床面積	9,462 m ²	確認者	辻井 光憲



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★☆

S: ★★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 83%
③上記+②以外の 83%
④上記+ 83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安を示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.3

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	共用部に中庭や吹抜を設けることで、自然採光を取入れた明るく快適な空間となるよう配慮した	その他 特に無し
Q1 室内環境	内装材に全般的にF☆☆☆☆を採用し室内環境に配慮した床面積1/30以上の死産採光を確保した	Q3 室外環境 (敷地内) 特に無し
Q2 サービス性能	1%以上のリフレッシュスペースと自動販売機を計画することで、利用者の快適性に配慮した	
LR1 エネルギー BEIm = 0.77	LR2 資源・マテリアル 発泡剤を使用した断熱材を使用なし	LR3 敷地外環境 LCCO: 排出率を83%に抑えた

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される